

凄さ^{すご}パラリンピックの

Column No.187

文・笠間市長 山口 伸樹



(一社)日本車椅子ソフトボール協会会長 高山樹里^{たかやま じゅり}さん (写真中央) が茨城アストロプラネッツ車いすソフトボールチームの練習を視察に訪れた際の写真

9月5日に、13日間に及ぶパラリンピックが閉幕しました。

パラの競技が日本のTVでこれほど放送されたことは初めてだと思います。

競技の種類、障がいのランク分け等、パラスポーツの初めてを知ること数多くありました。

日本の選手も、金・銀・銅、合わせて51個のメダルを獲得し、大活躍をされました。

見ている私にとっては、感動を超え、驚きの連続ばかりでした。

特に最終日、日本の66歳の女性選手が、マラソンで8位に入賞したときのゴールの姿には超越の域がありました。

生まれつきや事故、病気等で障がいを抱えた方々が、失われた体の機能やメンタルをどう克服してきたのか、人生をどう歩んできたのか、超人的な取り組みは想像もできません。

パラリンピックを通じて選手皆さんの笑顔で挑戦している姿は、国民に大きな勇気を与えてくれました。また、パラスポーツに対する理解も一層深まったと思います。

笠間市もパラスポーツに関しては、茨城県民球団の車いすソフトボールに協力をしています。

更にパラスポーツの環境整備と普及、そして共生社会の推進に取り組んでまいります。

とにかく凄い！



市公式SNS等へ
ご登録ください！

市では、情報発信のツールとして、広報紙やホームページのほか、SNS等を活用しています。SNS等では、行政情報をはじめ、新型コロナウイルス関連情報や災害情報、観光情報、まちの話題など、さまざまな最新の情報を発信しています。今後は、デジタル化が進んでいく中でSNS等による情報発信が中心となります。本紙3ページに市公式SNS等のQRコードを掲載しますので、ぜひ、多くの方(一世帯に一人以上)のご登録をお願いします。



問 秘書課(内線224)